

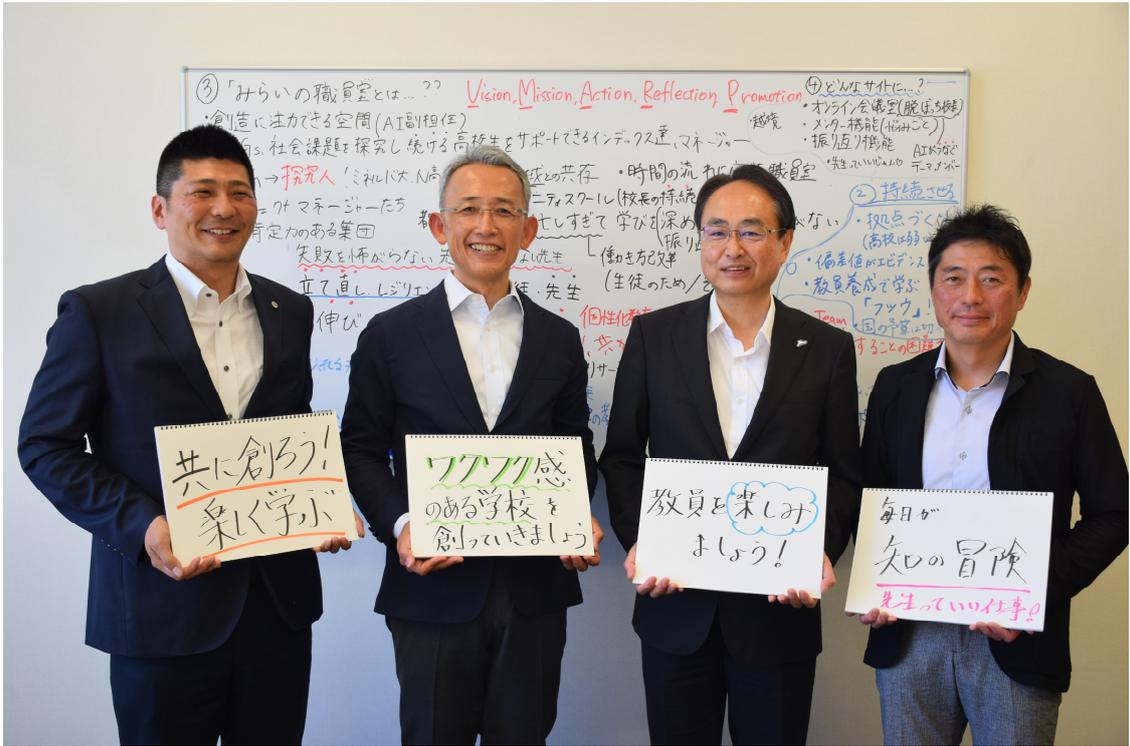
「先生っていい仕事」シンプルな言葉ゆえに心に響く

最後に：全国の先生方へのメッセージ

編集部：教員、そしてその集団としてのチームや職員室のあり方。過去・現在・未来にわたり、縦横無尽に展開される白熱した議論の中で、時間はあっという間に過ぎていってしまいました。

「学び続ける高校プラットフォーム～みらいの職員室～」では、今後とも、よりよい高校づくりに向けて自発的、持続的、自律的に取り組む高校関係者の皆さまと、こうした白熱する場を作っていきたいと考えています。

そこで最後に、全国各地で奮闘している方々に向けたメッセージを、本日ご参加の先生方よりいただきました。全国の挑戦事例や、プラットフォームのあり方については今後とも継続的に発信してまいります。引き続き、本ポータルサイトの更新を楽しみにお待ちしております。



ご協力いただいた先生方、ありがとうございました！

1-4. プラットフォームに係るニーズ等のヒアリング

プラットフォームのあり方の検討にあたり、座談会におけるオンライン形式での気軽な対話の場という提案を軸に検討を進めた。オンライン形式による疑似的な対面の場を設けることには、遠隔地でも集まれる点などのメリットがある一方で、大人数の場合に話が盛り上がりにくい懸念があるなどのデメリットも予想される。

今年度は、オンライン形式でのプラットフォームを検討するに当たり、教育関係者に対するヒアリング調査を実施するとともに、現地ヒアリング調査で関わりのあった教員に、オンライン形式でのプラットフォームに求める機能やあり方等について聞き取りを行った。

図表 8 オンライン形式でのプラットフォームを開催する場合の留意点（インタビューより）

全体について	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 主なターゲットに設定する教員など開催コンセプトを明示（平均的な層を高い頻度で集めることを理想としたいが現実はかなり実現可能性が低いのではないかと） ➤ ふらっと繋がりたいという欲求を教員個人は持っており、職人気質の学校現場ではこういったふらっとした場がないことも珍しくない。「ふらっと」を実現できるかが重要
開催時期について	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 土日の方が望ましい（但し土曜日は部活動などがあり時間の確保が難しい。） ➤ 長期休業時期の平日午後が安全か
開催時間について	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 夕方 16:00、17:00 以降が望ましい ➤ 但し勤務時間の制約があることに留意
オンラインツールの可能性について	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 通信速度の問題がある都道府県もあるのではないかと ➤ タブレットを所有していない教員も多い ➤ セキュリティの関係で SNS 系には接続できないことが多い
参加対象範囲について	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 管理職/管理職以外で開催は分けた方が、より悩みを共有できるのではないかと ➤ 但し特定テーマ（探究など）であれば、立場が混在したほうが面白いケースもあるのではないかと ➤ トークテーマに応じて参加者を選択できる方が良いのではないかと（役職指定だけをすると話が進まないこともある。） ➤ 参加対象者数が多すぎると議論が弾まない
トークテーマについて	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 特定のテーマを明示したほうが関心のある人が集まる ➤ 大きなテーマのみを提示し、柱立てなく自由に議論できた方が良い場合もあるが、フリーディスカッションが得意でない先生もいる

進行方法について	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ファシリテーターが必要 ➤ 完全にファシリテーターがいない回も面白だろうが、その場合は、ファシリテーターがいる回を複数回重ね、その時の様子を次回参加者が動画等で事前に関覧できるような仕掛けが必要ではないか
追加機能について	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 個人対個人で直接つながれるチャンネルがあると良いのではないか

IV . ポータルサイトの運営

1 ポータルサイトの運営

1-1 . PV 数の推移

2019年4月のポータルサイト開設以降、2020年2月末までのページビュー数は図表9に示すとおりである。公開直後のPV数が多いが、その後も新着記事公開、文部科学省メールマガジンやイベント等での広報のタイミングと合わせて、PV数に変動がみられる。

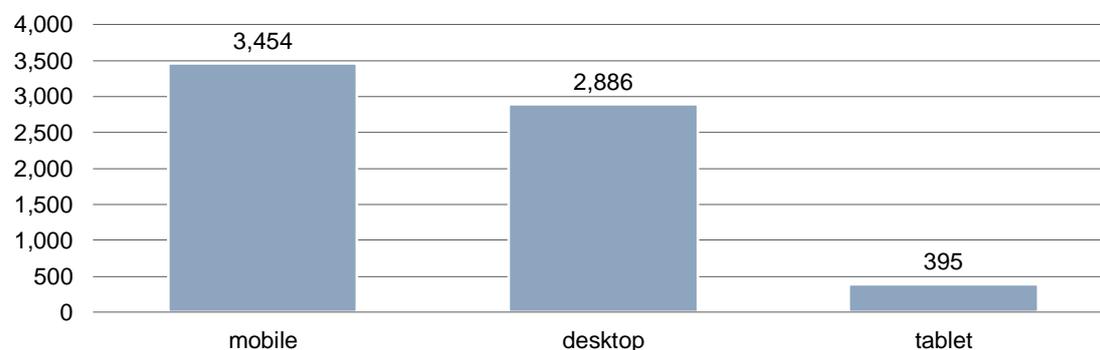
図表9 ページビュー数(2019年4月~2020年2月)



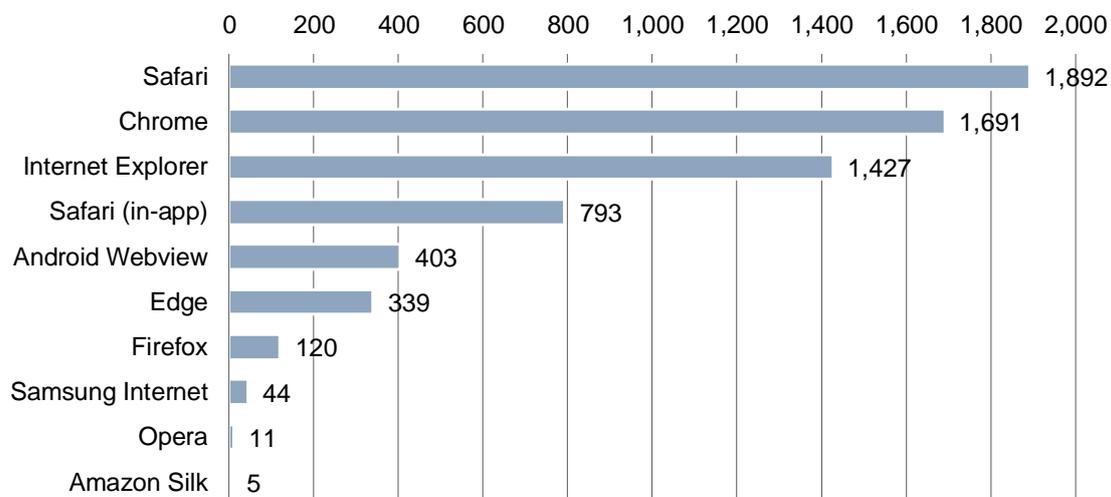
1-2 . 訪問者デバイス及びブラウザ

2019年4月~2020年2月までの訪問者の、使用デバイス及びブラウザを分析したところ、図表10、図表11に示す通りであった。デバイスでは「mobile」、ブラウザでは「Safari」と、携帯端末での閲覧が多いことが分かったため、ポータルサイトにモバイル向けのページを作成するとともに、より閲覧しやすいレイアウトとなるよう調整を行っている。

図表10 訪問者デバイス(2019年4月~2020年2月)



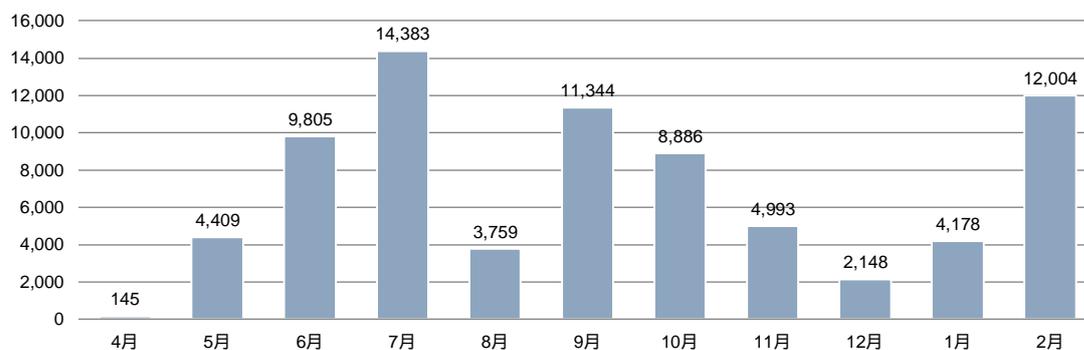
図表 11 訪問者ブラウザ (2019年～2020年2月)



1-3 . セキュリティアタック数

ポータルサイト開設後のセキュリティアタック数は、図表 12 に示すとおりである。月によるバラツキはあるが、いずれも想定の範囲内でのアタック数となっており、ポータルサイトのセキュリティ管理面において、特段の問題は生じなかった。

図表 12 セキュリティアタック数 (2019年4月～2020年2月)



2 広報の拡充

2-1. 概要

ポータルサイトの認知度向上、閲覧者数上昇のための情報発信を行った。

(1) メールマガジンへの寄稿

文部科学省初等中等教育局のメールマガジン「初中教育ニュース」第365号(2019年8月23日配信)において、ポータルサイトに係る情報発信を行った。

【お知らせ】学び続ける高校プラットフォーム(みらいの職員室)について
〔初等中等教育局参事官(高等学校担当)付〕

文部科学省では、高等学校教育関係者向けに、学校改革に関する事例を収集し、ポータルサイト「学び続ける高校プラットフォーム～みらいの職員室～」に掲載しています。

「みらいの職員室」では、学校の改革に積極的に取り組む学校の事例や、有識者のインタビュー等の記事を掲載していますので、よりよい高校づくりの参考として、ぜひご覧ください。記事は、随時追加していく予定です。

詳細はこちら

<http://mailmaga.mext.go.jp/c/afi9ae41aUoRvAbG>

(お問合せ先) 本事業委託先

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

政策研究事業本部 公共経営・地域政策部

電話：03-6733-1022(内線3644・3367)

(本件担当)

初等中等教育局参事官(高等学校担当)付高等学校改革推進室

電話：03-5253-4111(内線2022)

(2) チラシの作成

高校教育関係者が集まるイベント等での情報発信のため、広報用のチラシを作成した。

図表 13 広報用チラシ

よりよい高校づくりに向けた全国の「挑戦事例」が集まる文部科学省のポータルサイト
「学び続ける高校プラットフォーム（通称：みらいの職員室）」がオープンしました！



このプラットフォームの愛称は、「みらいの職員室」です。

全国の、よりよい高校づくりに向けた意志や試行錯誤を分かち合える場にしたい。

こうした思いを「職員室」という、教育に対する思いを持つ人々が集い、議論し、協働する場のイメージに込めました。

プラットフォームの入り口となるこのサイトでは、全国各地で高校教育改革に向き合う現場への取材を通じて、

「みらいの」職員室のありようを垣間見ることができるコンテンツを用意しています。

今後も定期的に、高校関係者への取材記事、高校改革に関する関連情報、対話の場（プラットフォーム）に関する情報を追加していきます。ご期待ください！



みらいの職員室 🔍 で検索！

出典) 三菱UFJリサーチ&コンサルティング作成

(3) 月刊高校教育での連載

ポータルサイトに掲載されている記事の一層の認知向上を図るため、学事出版「月刊高校教育」と連携し、全12回の連載枠を持ち、PRを行うこととした。今年度は、2020年4月号、5月号の入稿を行った。(2021年3月号分まで継続予定)

V. 次年度構想について

今年度の調査研究等を踏まえ、次年度は以下の事業内容を想定している。本計画は現時点のものであり、具体的には事業遂行過程において精査を行いながら検討していく。

1 コンテンツの拡充について

今年度まで、高校・教育委員会の事例を中心としてコンテンツの拡充を図ってきた。事業最終年度となる2020年度は、「学び続ける高校プラットフォーム」の名称の通り、高校・教育委員会の垣根を超え、広く高校教育関係者が集い、対話するプラットフォーム的な場に着目を行う。

既に民間や都道府県等のレベルで、高校関係者が集う場が企画、実施されていることから、そうした事例に取材を行い、プラットフォームがもたらす効果や、プラットフォームを継続、拡大させていくための要諦等について把握を行い、記事として公開する。これをもって、高校改革に取り組む実践者同士がつながり、学び合うための情報提供とする。

なお、当初は本事業において、プラットフォーム的機能を実装することが目指されていたが、事業終了後の継続的な場の展開に係る見通しが不明確であることから、事業内容を見直し、既存のプラットフォームに係る情報提供を主眼とすることとする。

現状では、既に以下の団体等が例となるように、対面形式のプラットフォームが展開されている。文部科学省とも相談の上、これらの団体にインタビューを実施し、プラットフォーム等の学びあいの場づくりのヒントを得ながら、既存のプラットフォームを強化していくことを目指す。なお、今後はオンラインを活用した学び合いの場の拡大が予想されることから、オンラインプラットフォームにも着目した事例調査を行う。

取材先例)

- ・教育・学びの未来を創造する教育長・校長プラットフォーム（文科省有志）
- ・未来の先生展、未来の先生塾
- ・オンラインによる高校教育関係者の学び合いの場の構築
- ・SCH シンポジウム
- ・「地域との協働による高等教育改革推進事業」における各地域の学び合いの場

2 ポータルサイトの運営について

次年度は、ポータルサイトの機能面での拡充については想定せず、委託事業期間終了後の、運営の継続性の担保の観点から、文部科学省と連携し、ポータルサイトの円滑な移行を図る。

高等学校における次世代の学習ニーズを踏まえた指導の充実事業
学び続ける高校プラットフォームの運営・充実
事業報告書
2020年3月

発行：文部科学省

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2

TEL：03-5253-4111

委託：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 政策研究事業本部

〒105-8501 東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

TEL：03-6733-1022